

質問者 玉名中学校 平川 幸来 議員 農林水産政策課

3 農林・水産について

②市の特産物（農産物）を広めるためのPR活動について

（答弁者 産業経済部長）

次に、玉名中学校 ^{ひらかわこゆき} 平川幸来議員ご質問の「市の特産物（農産物）を広めるためのPR活動について」にお答えします。

玉名市では市長自らが関係市場に出向いて農産物のPRを行うトップセールス事業を、例年10月に柑橘類、2月に野菜類の年2回実施しています。事業の方法としましては、東京都、大阪府及び京都府にて隔年で実施しており、市長をはじめ市議会や農協の各代表者が参加し、関東や関西の主要市場関係会社の役員の方に、玉名市の農産物の良さをPRする販売促進会議を開催しています。

また、市場関係者へのトップセールス事業と合わせて、11月には東京都渋谷区で開催される渋谷フェスティバルに参加し、温州ミカンや6次産品を、2月には大阪府豊中市にある商業施設「せんちゅうパル」において、「ふるさと熊本・玉名フェア」を開催し、玉名市野菜振興協議会と玉名市ブラ

ンド物産協議会が合同で販売ブースを設け、玉名の旬の野菜や果物、6次産品等の店頭販売はもとより情報発信や販路拡大を図っています。

このように全国有数の一大産地として、玉名市の特産品であるトマト、ミニトマト、イチゴ、温州ミカンといった農産物をはじめ、市内の農林水産物を活かして製造された6次産業推奨品、さらには、玉名らしさやこだわりが詰まった玉名ブランド認定品を中心に全国に向けた販売促進活動に取り組んでいます。

また、有明海産の海苔につきましても、本市のふるさと納税の返礼品として、乾のりとのり佃煮を活用しており、また、県漁連等が中心となり全国に向け広くPRするなど、積極的な販売戦略が講じられているところです。

引き続き、行政と農業団体、漁業団体が連携し、より効果的、効率的な販路拡大に努め、玉名産農林水産物の魅力発信と共に、市の認知度向上を図っていくこととします。